
QA6-2 東京電力福島第一原子力発電所から放出されている放射性物質の量は、少なくなっているのですか。

A

- ① 東京電力福島第一原子力発電所については、平成 23 年 7 月に測定された原子力発電所の建屋上部近傍での空気を分析して得られたセシウムの放出量は約毎時 10 億ベクレル (Bq/h) でしたが、1 年後には約 100 分の 1 まで減少しました。
- ② 東京電力は、敷地境界付近に設置したモニタリングポストにより、常に、同発電所から放出される放射性物質の状況を監視していますが、平成 28 年 12 月時点では、毎時 3 万 5 千ベクレル (Bq/h) 未満です。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第 6 章 6 ページ「事故直後から 2 か月間の空間線量率（東京電力福島第一原子力発電所敷地内及び敷地境界）」

下巻 第 6 章 7 ページ「事故直後から 2 週間の空間線量率（東京電力福島第一原子力発電所敷地内及び敷地境界）」

出典：第三八回廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議より作成

出典の公開日：平成 29 年 1 月 26 日

本資料への収録日：平成 29 年 3 月 31 日